

ひとを結ぶ。
まちを結ぶ。

column
No.72

地域おこし協力隊

▼両開産ブドウのタルトを作って洋菓子店の仕事を体験



交流館なかしまワッセで 仕事を学ぶ夏休み

夏休み期間中に7日間、さまざまな分野から講師を招き、小学生を対象とした「仕事体験」を開催しました。今回はその様子を少しだけ紹介します。

■柳川高校 国際科の生徒3人を講師に招き、英語カルタなどで盛り上がりました。

■フードラボラトリーヤナガワ 隅町にある素材にこだわった洋菓子店。両開産ブドウを使ったおいしいタルトをみんなで作りました(写真上)。

■GRAVITY BAR 全国大会で優勝経験があるバーテンダーからカクテル作りを教わりました。

■小畠豊店 人気アニメの柄が入った畳縁に子どもたちは興味津々。立派なミニ畳ができました。

■手話船頭 手話で柳川を案内している船頭さんが、子どもでもすぐに使える手話を教えてくれました。

■柳川市観光協会 子どもたちは地元柳川の観光スポットの話に目を輝かせていました。

■たこ焼き Doya 家で簡単においしいたこ焼きを作る秘訣を伝授してもらいました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



吉川 雅俊 (36歳)

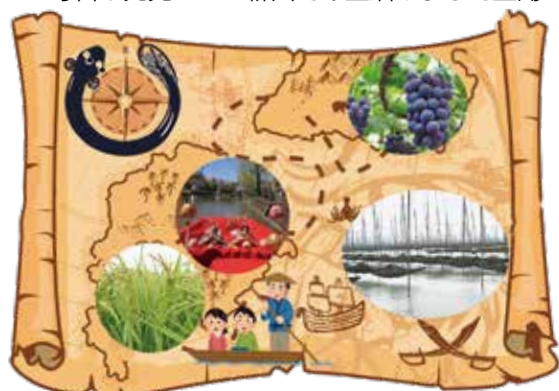
【プロフィール】市観光課に所属。柳川観光の未来を担うマルチプレイヤーを担当

大都市圏から地方へ人の流れを作り、将来の定住を目指しながら、地方の活性化への貢献を目指すプログラム「地域おこし協力隊」。市で活動する8人の隊員たちの活動を紹介します。

【問】市観光課 (☎ 77・8563)

卒業

▼毎日が発見だった柳川での生活はまるで宝島



あっという間の3年間 柳川はまるで宝島

皆さん、こんにちは。早いもので、地域おこし協力隊としての私の任期は残り1カ月となりました。

東京に住んでいたころは、東京が経済の中心で、「最新テクノロジーを扱う生活が最も優れた生活」だと考えていました。そんな私の価値観を大きく変えたのが、柳川での生活です。

柳川での3年間、農業や水産に関わる経験をたくさんすることができました。その中で「生産者がいなければ日本経済は維持できない」と実感しました。柳川には農水産物をはじめとする豊富な資源、生産者の知恵や技術など、東京に無い物がたくさんあります。これらの宝物を全国にもっと自慢していいと思います。大げさではなく私にとって柳川は宝島のようなものでした。

最後になりますが、3年の任期を無事に務めることができたのは、多くの柳川市民に支えられたからです。本当にありがとうございました。

おこし隊を卒業後も、引き続き柳川に定住します。数年後には、「元地域おこし協力隊が柳川の役に立った」と言われる日が来るように頑張ります！



福永 純一 (51歳)

【プロフィール】市観光課に所属。「福岡有明のり」PRおよび新たな商品開発を担当

▶やながわごみ分別アプリ



Android 端末



iOS 端末

QRコードを読み取って
アプリを簡単にダウンロード
左のQRコードを読み取り、アプリをダウンロードしてください。もちろん料金は無料です。
最初にアプリの設定画面で、お住いの地域を設定してから利用してください。

ごみ減量
大作戦



「ごみ分別アプリ」で変更後の収集日を確認

シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」②⑥

9月1日号でお知らせしたとおり、10月からごみ収集日の一部が変わります。変更後の収集日を調べるのに便利なのが「ごみ分別アプリ」。この機会にぜひダウンロードしてください。既にアプリを使っている人は、住んでいる地域の再設定が必要で、住所変更後の収集日は9月に配布したチラシでも確認できます。詳しくは市廃棄物対策課へお問い合わせください。

【問】同課 (☎ 72・1334)

アプリの主な機能

■ごみ収集日を素早く確認

●収集日カレンダー
お住いの地域のごみ収集日を週や月ごとに確認することができます。

●ごみ出し忘れ防止アラート機能
ごみの収集日をアラートでお知らせします。お知らせするごみの種類や時間は自由に設定することができます。

■台風などの緊急時にも便利

●お知らせ
ごみ出しマナーの啓発や市からのお知らせの他、「台風で収集が遅れます」といったごみ出しに関する緊急情報などが届きます。

▶週ごとのごみ出しカレンダー



住んでいる地域の再設定方法

■既にアプリを使っている人は必ずエリアの再設定を

<手順>

- 1 アプリを起動
- 2 左上のメニューをクリック
- 3 「エリア設定」をクリック
- 4 「エリア設定」をクリック
- 5 住んでいる地域をクリック
- 6 「保存」をクリック

